

令和7年度 第2回 大阪市立伝法幼稚園 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立伝法幼稚園

日時	令和7年11月18日(火) 15:00～	
場所	大阪市立伝法幼稚園 園長室	
出席者	委員など	会長1名、副会長1名、委員5名
	校園	園長、主任
	区役所	区役所・教育支援担当課長
	① 大阪市立伝法幼稚園「令和7年度 運営に関する計画(中間評価)」について ② その他意見交換	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	<p>① 令和7年度「運営に関する計画(中間評価)」について、添付資料とともに、説明。取組内容・評価ともに妥当であるという協議に至り、委員の理解、承認を得た。</p> <p>② 各委員の立場から、幼稚園の教育活動についての意見交換。取組や評価について理解を得るとともに、現在、保護者と地域と連携が取れている表れであると思われるので、現状を維持していくことが大切であると再確認した。</p>	<p>① ・評価基準については、現状概ね予定通りに進んでおり、評価できる。保護者アンケートにおいて高評価を得ているものに関しては「A」を付けても良いのではと思われるが、中間でもあるので、後期に課題としているところを改善し、「A」となるようにする。</p> <p>② ・保護者アンケートでは、どの項目も高評価を得ているが、『自分が好き』『友達が好き』という自己肯定感につながる部分に関しては、少し他の評価より下がっているため、そこをどう捉え取り組んでいくか。 ・幼児期は発達段階の差がより大きいので、子によっては「自己肯定感の育ち」を捉えにくいところもあるのではと考える。保護者が子の育ちを感じられるように、今後も個別にしっかりと発信していくことが大切である。 ・保護者は今の我が子の園での姿を知りたいと感じている。そういう意味においては、「でんぼうっこ」のクラスだよりは、園として伝えたいこと(知・徳・体の視点)を明確にもち、取り組んでいる。今後も継続して行ってほしい。 ・避難訓練を月に1回、様々な状況を想定して行われているのは大変評価できる。自分の身は自分で守る、という防災への意識につながる取組である。 ・少ない教職員の中で、保護者の理解を得、協力体制をつくり、きめ細かく取り組まれていることがよく分かる。引き続き、よりよい教育の為に努めていかれたい。</p>
協議資料	令和7年度「運営に関する計画(中間評価)」 教育活動に関するアンケート結果(前期)・「でんぼうっこ」・「園長室だより」	
備考	傍聴者[0]名	